

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月12日

計画の名称	成田市宅地耐震化事業（防災・安全）													
計画の期間	令和０４年度　～　令和０４年度　（１年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	成田市													
計画の目標	第一次スクリーニングを実施し抽出された大規模盛土造成地１１７箇所について、現地踏査等から優先度評価を行い、二次スクリーニング計画の作成を実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		8	A	8	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A ＋ B ＋ C ＋ D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R4末
1	第二次スクリーニング計画を策定し、ホームページ等により公表することで、大規模盛土造成地に居住する住民の防災意識の向上を図る。			
	策定した第二次スクリーニング計画のホームページ等公表割合	0%	%	100%
	ホームページ等の公表盛土数 / 大規模盛土造成地数			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	成田市	直接	成田市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	大規模盛土造成地の二次スク リーニング計画を作成する。	成田市	■					8		-	
											小計						8			
											合計						8			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本整備総合交付金事業の事後評価として成田市で実施

事後評価の実施時期

令和5年7月

公表の方法

成田市のホームページに公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、対象地の変動予測調査（現地調査、優先度評価）を実施した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

大規模盛土造成地117箇所の優先度が高い盛土（Aランク）のうち、早急に二次スクリーニング調査が必要となった1箇所について、調査を実施する。また、早急に二次スクリーニング調査の必要性を検討するため、14箇所の簡易地盤調査及び擁壁危険度判定調査を実施する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	